

Let's cooking!

第 13 回世界のクッキング講座

第 13 回世界のクッキング講座(松浦市国際親善協会主催)が2月19日、きらきら21で開催されました。

この日は、アメリカ出身のニルス・ライ氏とオードリー・ジョーンズ氏を講師に招き、アメリカの家庭料理であるミートローフ、いんげんとベーコンの炒め物、マッシュポテト、コールスロー、ピーナツバター・クッキーの5品に挑戦しました。

参加した13人は、講師の英語での指導の下、英単語や意味を確認しながら調理。英語や日本語での会話も弾み、楽しくアメリカの家庭料理を完成させました。調理後は、参加者全員で、自分たちで作った料理を堪能しました。



まちの話題

Matsuura City Topics

子どもの健康を守る

松浦保育会公開講座

松浦市保育会(大内恵美子会長)が主催する公開講座が2月19日、文化会館で開催されました。

講師に、宮崎県立宮崎病院小児科医長の中谷圭吾氏を招き、「気になる子どもの病気」と題して、乳幼児のアレルギー疾患と感染症対策についての講義が行われました。

講義では、代表的な病気ごとに症状の特徴や対処方法などの説明があったほか、保育施設における生活での留意事項などについて話があり、この日、講座に参加した保育関係者や一般市民など約100人は、メモを取るなどしながら熱心に話を聞いていました。



ツバキの魅力を発信

第39回福島つばき祭り(松浦福島つばき会・松浦市観光協会主催)が2月25日、26日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。

祭りでは、ツバキ盆栽・鉢物の展示やツバキ花苗販売、特産物販売、同つばき会会員によるつぎ木講習・実技指導、福島町内の小・中学生によるツバキを題材にした絵

画・書の展示などがあり、会場を訪れた人たちは、展示されたツバキを1本、1本じっくりと観賞したり、自分のお気に入りのツバキを購入したりしていました。

また、つぎ木講習では、つぎ木の仕方を写真に収める人や、質問をする人がいるなど、ツバキについての知識を深めていました。



100歳おめでとうございます

山縣千代子^{ちよこ}さん

山縣千代子さん（星鹿・海光園）が3月2日、入所先の養護老人ホーム海光園で100歳の誕生日を迎えました。

山縣さんは、明治45年生まれで、若いころは、佐世保や志佐看護会の事務員として働き、その後は、平戸や江迎、佐々などで和服を仕立てる仕事に従事しました。

現在は、足が不自由なため、部屋で過ごすことがほとんどですが、2カ月に1回程度、タクシーで買い物に出掛けることを楽しみにしています。

この日は、施設の人から祝福を受け、寺澤副市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



100歳の誕生日を祝う

丸石キエさん

丸石キエさん（志佐・愛光園）が2月22日、入所先の特別養護老人ホーム愛光園で100歳の誕生日を迎えました。

丸石さんは、明治45年生まれ。若いころは仕事や子育てに忙しい毎日を送り、孫が誕生してからは、家事と孫の面倒を見ることを日課として過ごしました。

現在は、足が不自由なため車いすが必要ですが、1日の大半を施設内の共同生活室でほかの入居者と一緒に過ごし、催し物があるときは積極的に参加しています。また、食欲も旺盛で、毎日の食事を楽しみにしています。

この日は、家族や施設の人から祝福を受け、寺澤副市長から花束などを受け取りました。



「火の用心」の心を広めて

上志佐ジュニア消防クラブ入退団式

上志佐小学校（福田満校長）の4～6年生の児童で組織するジュニア消防クラブの入退団式が3月7日、同校体育館で行われました。

同クラブは、消防出初式や火災予防広報活動などに取り組んでおり、今回卒業を控えた6年生15人が退団し、新年度に4年生になる11人が入団しました。

式では、松浦市消防本部の諸石消防長から団員に任命状と団員手帳が手渡され、団旗の引継ぎが行われました。その後、新団長の大畑雪那君が「これからリーダーシップを取って上志佐地区で火事が起こらないように取り組みます」と誓いの言葉を読み上げ、火災予防への気持ちを新たにしました。



火災予防にご協力を！

春季全国火災予防運動パレード

全国一斉に実施された「春の火災予防運動（3月1日～7日）」の一環として、3月1日に市内全域で防火パレードが行われました。

参加した消防団員などは、消防車両や広報車に乗り込み、市内をパレードしながら、保育所などで風船を配るなど、市民に対して火災予防を呼び掛けました。

この日、パレードで立ち寄った今福保育所（梶島洋子所長）では、園児たち約30人が法被姿で団員などを出迎え、大きな声で元気良く「火遊びは絶対にしません」と約束しました。

